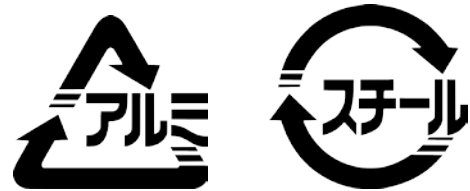


再確認！資源ごみの見分け方・出し方

■かん・びん

飲食の商品に使用されているかん・びんが対象です。かん・びんは中を水ですすいで出しましょう。

【例】スチール缶、アルミ缶、お菓子の缶、缶詰の缶清涼飲料水や酒類のびん、インスタントコーヒーやジャムなどの食料品のびん



■その他プラスチック

プラマークのついているものが対象です。油などの汚れがついているものは、洗って出しましょう。汚れが取れないものは、可燃ごみで出してください。プラマークの無いプラスチック製の製品は対象外です。



【例】プラスチック



シャンプーのボトルや豆腐、ヨーグルト、アイスなど食品の容器

【例】プラスチック対象外



バケツやビニール製のひも

■ペットボトル

ペットマークのついた飲料や特定の調味料（醤油・みりん風調味料、食酢、ノンオイルドレッシングなど）の容器が対象です。容器についているキャップ・ラベルは外し、その他プラスチックで出してください。ペットボトルは水で中を洗ってから潰して出しましょう。



ごみ収集中の火災事故が発生しています。

毎年不燃ごみの収集中に、パッカー車での火災が発生しています。主な原因は、スプレー缶やカセットガスボンベに残った可燃性ガスへの引火です。スプレー缶などを出すときは、中身をすべて使い切り、穴は開けずに出しましょう。また、刃物や割れ物をそのまま袋に入れて出すと、収集員がけがをする恐れがあるので、新聞紙などに包んで出しましょう。



捨てる前に考えてみよう。

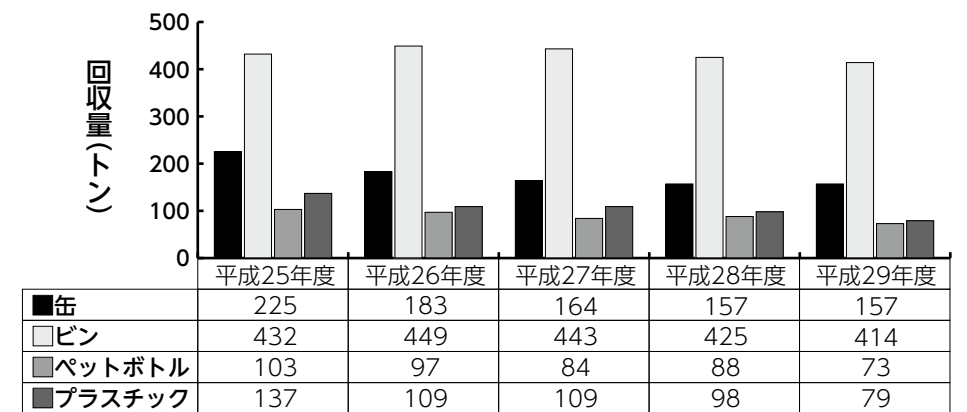
そのごみは、減らせないか。資源にできないか。

家庭などから出るごみには、資源になるものがたくさんあります。資源を「ごみ」にせず、再利用するために各家庭などで「分別」が取り組まれています。あなたが捨てるごみは、正しく分別されていますか。

ごみ減量化・資源化に取り組みましょう

■減り続ける資源ごみの回収量

市では、資源ごみの分別収集を行っています。資源ごみとして回収されたかん、びん、ペットボトル、その他プラスチックは、リサイクル業者に引き渡され再利用（リサイクル）されます。しかし、本市では現在、資源ごみのすべての品目で回収量が減少しており、各家庭や事業所などでのごみの分別が不十分である可能性があります。



■家庭でできるごみ減量 ～段ボールコンポストをはじめませんか～

11月1日から、段ボールコンポストの購入費に対する補助金の交付が始まります。「段ボールコンポスト」とは、段ボールを使った生ごみ処理容器で、電気を使わず庭や畑を持たない人でも生ごみを処理・堆肥化できるものです。必要な物は下記のとおりですが、自宅にあるもので代用することによって費用を抑えられるところが特徴です。

【使用するもの】

段ボール箱（二重構造が丈夫で長持ちします）
ピートモス・もみ殻くん炭

（3：2の割合で混合します）

設置台（風通しを良くするために使います）
虫よけカバー（古着のTシャツなどで代用できます）
スコップや木べらなど

（かき混ぜるときに使います）

温度計（温度変化を確認します）

【補助金の概要】

補助額はすべて購入費の半額で、上限額などは下表のとおりです。

補助対象	補助上限額	補助対象数
段ボールコンポストセット	1セット当たり1,000円	1世帯につき6セットまで
段ボール箱	1枚当たり100円	1世帯につき6枚まで
ピートモス・もみ殻くん炭	1個当たり300円	1世帯につき12個まで

※電動生ごみ処理機、コンポスターの購入に対する補助金も交付しています。詳しくは問い合わせください。



【段ボールコンポスト実践者の声】

（田川市ごみ減量化・資源化検討推進委員）
○生ごみを入れても、段ボールの中のかさが増えないので驚いた。
○水分や油分を入れたほうが生ごみの分解が進むので、煮魚の汁やお茶の葉、揚げ物をした後の油を入れることができるので助かる。
○ほぼ毎日生ごみを入れ、かき混ぜる作業をするので愛着が湧いた。

